

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の、『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://arteclub.org/> では、カラーでご覧になれます。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・

どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

アルテクラブ ギャラリー

— 活動のご報告 —

硯川秀人展<平面・アクリル>

2月18、19、20、25、26、27日

硯川さんが、何故か引かれていると言う、シル・ドゥルーズの著作「千のプラトー」において、リズムとカオスの近接が語られている。《存在者が何よりもまず差異であり開始であるとすれば、存在は反復であり、存在者の再開である》。さらに、その著作の中で登場する言葉に、「流れる諸構造」、「構造とはリズムである」とあり、重要概念として‘ドラマ’という概念が登場し、古代のドラマを近代と対比し、それは筋よりもパトスの場面、行為よりも出来事を意味していたと語られている。また、リゾーム(地下茎のように広がる多様な思想形態)の概念については、ツリー状社会(縦社会的な構造)からリゾーム状社会(横社会的な構造)への転換が重要であると述べられている。

いつも「風」を意識しながら制作を行うと言う硯川さんの作品は、それらの概念を具現化したように思われ、その概念はまた「アルテクラブ」の価値観と重なるものではありませんか？

紙の作品は、まず水を掃いた上に、アクリル絵の具を置いていくものです。キャンバスボードは、エアブラシで描かれています。



— 2005年 アルテクラブ企画展 —

矢部裕輔展 <立体> 6月3日~12日
 笹岡敏明展 <平面> 7月8日~17日
 銘仙展 <着物> 10月26日~30日
 高橋寛子展 <織・着物・平面> 11月

— これからのスケジュール —

◆2005年 アルテクラブ企画展

藤田勇哉展<絵画>

4月8、9、10、15、16、17日

金土日のみ開廊です!

開廊時間 12:00~19:00・川越 三番町ギャラリー

★オープニングパーティー 4月7日(木) 18:00~

藤田さんの友人、尾島満矢さんと、ギターの演奏です。

★アーティストより一言

鉛筆と油彩を中心に制作ををつづけています。この2つの素材は細かく緻密に描けること、また、何度でも修正ができるという点で、わたしの性質に合っているように思います。

フェルメールのほとんど完璧な世界やヘームの緻密な描写に憧れます。その気持ちがわたしを制作に駆り立てる1つの要因になっています。モチーフと絵との視覚的な差異を埋めることがわたしの制作の大きな主眼ですが、いつまでたっても納得いく結果がえられず、観察力や技術への向上心が、描くことへ向かわせる原動力になっているようにも思えます。

2005.1.9

★プロフィール

1974年 埼玉県に生まれる
 1999年 東京造形大学美術学科絵画専攻卒業
 2000年 同研究生終了
 現在、埼玉美術学院講師
 1997年 個展、埼玉県立近代美術館
 1998年 伊豆美術祭、伊東市観光会館
 2002年 個展、なすび画廊(銀座)
 2004年 グループ遊展、埼玉県立近代美術館
 CAF-n展、埼玉県立近代美術館
 個展、なすび画廊(銀座)
 埼玉県桶川市在住

— お知らせです —

★(其々の在りかた)

窪田義和・鷹塚栄峰・渡邊佐和子・硯川秀人
 05年4月4日(月)~9日(土) 11:00~19:00
 画廊るたん 中央区銀座6-13-7 新保ビル2F
 03-3541-0522

★GALLERY 彩の森美術館 開廊記念展

05年4月9日(土)~24日(日)
 入間市東町1-2-1 Tel 04-2964-2938

★「さくら・さくら展」

岡田幸子・奥田幸子・藤田三保子・利根川さよ子
 高橋としこ・田村公・長尾かおり・田村晴文美
 石井三子
 05年3月26日(土)~4月3日(日)
 陶舗 やまわ 川越一番街
 川越市幸町7-1 Tel 222-0989

♪ <硯川秀人展> オープニングコンサート

2月17日(木) 午後6時～

急遽、ドクトル梅津こと梅津和時さんがきて下さいました。感謝感激。プログラムの筋書きは、持ち味を生かしたフリージャズから入り、熟年をホロっとさせるバラード、韓国のパンソリを思わせる熱っぽい曲、そしてまた本来のスピード&変化自在のサクスト、聴き手の心をジェットコースターのように繰った展開でした。事務局はノリノリになった結果、写真を取り忘れました。ごめんなさい。

<http://webclub.kcom.ne.jp/mc/u-shi/>

上記にて、お姿、ライブ情報など、ご確認ください。打ち上げの飲み会では、梅津さんのルーツが川越であることが判明。それではぜひ、川越でライブを、CDを、と言うお話になり、ベルギーやアメリカからメンバーが集合する<シックス・ウィンズ>という梅津さん率いるユニットのライブが来年にでも出来たらいいね、という結論になりました。そこで、会場を探しております。皆様ぜひお心あたりの方は、ご一報下さい。

—— あるってくるぶ ワークショップ ——

『現代アートと蔵造り職人映像展』

期間：2月11日(金・祝) 12日(土) 13日(日)

場所：川越市新富町1丁目 鏡山酒造跡地

主催：川越 TMO

共催：川越蔵の会、アルテクラブ

<アルテクラブ>では、”アートでIKIづく春の予感”として、1999年アルテクラブ展にお迎えしたたべけんろうさん、ロープワークの吉田佑子さん、いつもフードコーディネートをやっていたいでいる森千秋さん、今回はフラワーアレンジをお願いしていますその3人の皆さんのインスタレーションを行いました。たべさんの作品は、使えなくなった機械の部品、壊れた湯沸器、捨てられたバイクのパーツなどの材料を使い、組み合わせたもので、部分的に虫のように動いたり、光ったり、音がしたりします。「この世で使命を終えたもの達に生命を与え、新たな世界へと再び新生させようというのが、私の仕事です。」と、おっしゃるたべさんです。

吉田佑子さんのロープワークは、ロープや漁網、カンレイシャ、青竹などを用いて空間を埋める作品ですが、白いカンレイシャで覆われた酒のタンクは、ウェディングボールを羽織った花嫁姿にも見え、暗い蔵の中で静かな空想の世界に心を遊ばせた展示でした。吉田さんは「この空間を得て、自由に表現することが出来た」と、でおっしゃっていました。

森千秋さんのアートワークは、酒造りの様々な道具を使い花器に見立てて花を生けたものです。用途を全うした物たちに新しい命を見いだすコンセプトは、たべさんのアートワークと主旨をを同じくするものです。

大きな蔵の空間や、酒造りの道具を使ったアートワークは建物自体も本来の用途を全うした空間に新しい価値を見いだす作業でした。アーティストたちは、この騒々しい世の中に、空想の世界で、あるユートピアを示しているのではないのでしょうか。

来場者の一言：「この古くさい空間やいらなくなった道具が、こんな風に使われて素敵になるとは、思いもよらなかった。今までのイベントとはぜんぜん違う」

★次頁に写真があります。

“本日のめにゅー”

《 硯川秀人展 》

2005/2/17

- 肉だんごのトマト煮
- レンコンサラダ
- こんにゃくソテー
- 春菊のお浸しイタリアン風味
- パプリカのマリネ
- りんごとニンジンのサラダ
- さばパン粉焼き
- ブロッコリーのブラックオリーブソース

- 黒糖といちじくのケーキ

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

<chiaki table studip ホームページ>

http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHPです。スタジオで開かれるイベントや教室のご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれます。

URL http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/



♪ <藤田勇哉展> オープニングコンサート

4月7日(木) PM6:00 ごろから

藤田さんの友人、尾島満矢さんと、ジャズギターです。お楽しみに！



ロープと布のインスタレーション



アートトーク



メタルワークのインスタレーション



草花のインスタレーション

あるってくるぶ ワークショップ

—— かつしか・江戸を偲ぶまち歩き ——

3月12日(土)

京成お花茶屋～江戸前「車すし」にて昼食～曳舟川散策
京成お花茶屋～京成高砂～徒歩～江戸更紗工房見学
～徒歩～(揚げせんべい屋)柴又の江戸小物細工師工房見学
～徒歩にて柴又帝釈天へ～山本邸外から見学～高砂の焼き鳥や「鳥ひろ」

★まず訪ねたのは高砂にある江戸更紗の青木さんの工房。土間になっている工房の中に入ると染料の匂いが私たちを迎えました。柄をきり抜いた型の上からブラシを使い染料をのせ、それを何度か繰り返す。ブラシは鹿の毛を束ねたもの。型は漆をかけて強くした和紙を切り抜いたもの。一つの柄で型を40～50枚も使いその値段だけでも百万円もすると聞き一同ビックリでした。反物をのせる板(染めるときの土台・もみの木)も明治時代から使っていて厚さが半分になったそうです。青木さんは3代目で中学時代から根気のいる仕事を手伝い今になられたとのこと・・・

作業で使う道具をつくる職人もだんだんなくなるというお話をうかがい時代の変化もある中で、息子さんが4代目の後を継ぐとの言葉にホッとした気持ちになりました。



▶ 手間隙かかる作業に青木さんから教えてもらった「貴重なもの」という更紗の語源を実感し、帰りには色紙大に染色した生地をいただき大感激でした。

高砂から柴又へ向かう途中で寄った入山せんべいを味見しながら次の目的地、江戸小物細工の服部さんの家へたどり着きました。その見事な細工に懐かしさを感じ、まるで自分がその世界に入り込んでいるような錯覚を抱きます。茅葺屋根の家では紅梅や白梅が匂いたち、庭にはふとんが干してあり、その縁側で温もりを感じる自分を想像。その情景に、ちまちまと縮んでいた気分がぬくぬくと和らいでいきました。八百屋や魚屋の店先には新鮮な野菜や魚が並び、そのミリ単位の仕事の見事さにも驚きます。

服部さんに針金で作った枝にピンセットで桜の花をつける作業を見せてもらいました。いつもクラシックを聞きながら仕事をするという服部さんは、趣味で集められた骨董や自分で組み立てた自転車などに囲まれた個性的でセンスの良い家にお住まいです。その遊び心にととも70歳近くには見えない若さの秘訣を垣間見たおもいです。夢のある作品もそんな粋な生活から生まれてくるのかも。浅草の助六に作品は売っていますが、11月には銀座の松屋で個展があるそうです。

柴又では帝釈天の彫刻や庭園などを見学し、高木屋さんでは草だんご、高砂の「鳥ひろ」で胃袋も大満足。

アルテクラブの7名のステキなお仲間ともお会いでき最高に楽しい休日をご過ごすことが出来ました。まち歩きを通して様々な人と出会い、「ヤッパリ人間があつての町」を再認識しました。(まちネット・前島)



車すしにて



青木さん



服部さん

ワークショップ これからの予定

★日光街道・奥州街道の要の城下町 古河市
旧谷中村の 渡良瀬遊水地、忍城と足袋と、さきたま古墳と古代蓮の行田市 まち歩き 担当：塩野
5月29日(日) 詳細は次号にてお伝えします。

アルテクラブ2004年度会計報告

収入	会費	183,000
	協賛金	198,680
	企画料	186,260
	合計	567,940
支出	通信費	132,710
	事務用品	24,766
	オープニング経費	137,825
	交通費	100,000
	印刷費	106,612
	交際費	
	会員割引補填費	39,500
	雑費	26,527
	合計	567,940

口「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。

みなさんのご提案をお待ちしています。

参加してのご感想も、どしどしお寄せ下さい。

また「アルテクラブ」は、薄く、広く、皆様のご支援を受けたいと考えています。年会費 3,000 円の会員が一人でも多く参加していただけたらうれしいです。

*ギャラリー会場担当ボランティアを募集しています！
アートサポーターとして、参加してみませんか？

2月 18日(金) 前半 12時～4時、後半 4時～7時
19日(土) 前半 12時～4時、後半 4時～7時
20日(日) 前半 12時～4時、後半 4時～7時
25日(金) 前半 12時～4時、後半 4時～7時
26日(土) 前半 12時～4時、後半 4時～7時
27日(日) 前半 12時～4時、後半 4時～7時

*前回は、植松さん、小倉さん、斉藤さん、佐野さん、菅谷さんが担当されました。

*鏡山アート展では、中田さん、小倉さん、斉藤さんが担当されました。

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。今までの提供作品会員割引 20%に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大 30%off (例：ポイント獲得数 10の方は 10% off となります。)

★4月7日(木) オープニングにて、前年度のポイント発表およびプレゼントの贈呈があります。
新井紀子さん、小倉純子さん、植松よ志子さん、高桑秀子さん、斉藤悦子さん、ぜひ、ご出席下さい。

*アルテクラブマネーを獲得し、使ってみよう！

ギャラリーサポート：3アルテ

まち歩きの時の車両提供：3アルテ

まち歩きリーダー：5アルテ(現地調査、資料作りなど)

発送作業手伝い：1アルテ

コンサートPAなどの補助：2アルテ

など、これからも皆様のご提案をもとに、より良いものにして行きたいと思えます。

<アルテ>通貨が使えるもの(1アルテ=1,000円相当)

アルテクラブ企画展及び所蔵作品の購入、

アルテクラブ主催コンサートチケット、

三番町ギャラリーの使用(作品展、ワークショップ)、

ちあきテーブルスタジオ：お茶(ケーキ付き) 1アルテ
他にもアルテ通貨の利用できるお店などの協力を募りたいと考えています。

お時間のとれる方は、事務局まで連絡して下さい。

★アートに満ちた元気がなくまちを共に楽しむことと、まち歩きを通して、都市や建築への考察を深めることを目指す<アルテクラブ>の仲間になりませんか。お待ちしております。

★郵便振替 0016-4-179161
アルテクラブ 年会費 ¥3000

収入、支出とも正当であると認めます。

2005年3月31日



浅川 英雄 (印)

アルテクラブ事務局

草野建築設計事務所内

川越市南通町 14-3-102

Tel 049-227-8176

Fax 049-227-8178

e-mail kusano@arteclub.org

URL <http://arteclub.org/>

三番町ギャラリー
川越市南通町 14-3
-103
Tel 049-226-7735